

安曇野市豊科郷土博物館夏季特別展  
泣いた!笑った!おかいこ様  
～養蚕がささえた暮らし～



「クワと蚕」山田恭子画



2009年7月18日 **土** - 9月23日 **水**

- 主 催 安曇野市豊科郷土博物館
- 入館料 大人：300 (240) 円 小中生：150 (120) 円 ( ) 内は20名以上の団体料金
- 開館時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 月曜 (祝日の場合は開館)・祝日の翌日

安曇野市豊科郷土博物館 <http://toyohaku.jugem.jp/>

長野県安曇野市豊科4289-8 〒399-8205 TEL/FAX 0263-72-5672

■JR大系線豊科駅から徒歩15分 ■JR篠ノ井線田沢駅から車で10分 ■長野自動車道豊科ICから車で5分

# おかいこ様を知っていますか？

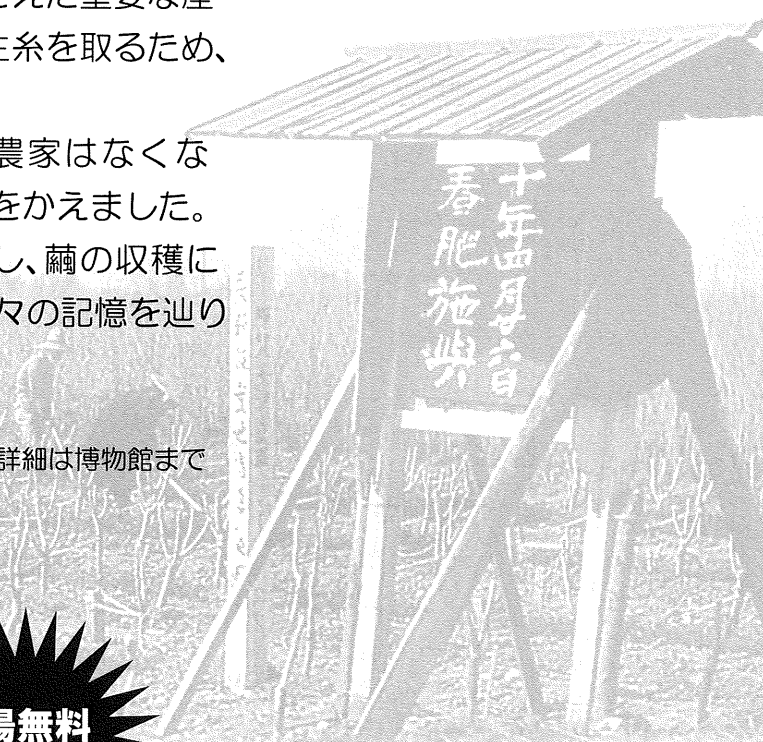
かつて養蚕業は安曇野の人々の暮らしをささえた重要な産業でした。蚕は「おかいこ様」と呼ばれ、良質の生糸を取るため、大切に育てられました。

しかし時代の波におされ、今では養蚕を営む農家はなくなりました。広大な桑畑も、水田や果樹園に姿をかえました。

この展覧会で、おかいこ様とともに寝起きし、繭の収穫に一喜一憂した頃の暮らしを、養蚕に携わった人々の記憶を辿りながら振り返ってみませんか？

★会場では本物の「おかいこ様」も飼育します。

※カイコの成長状況によって見られない時期もございます。詳細は博物館までお問い合わせください。



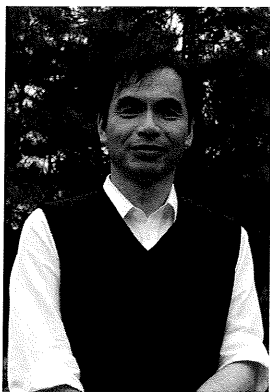
## ◎講演会◎

### 「里に暮らす意味」



- 講師 内山 節さん（哲学者）
- 日時 8月9日（日）  
午後2時～3時30分
- 会場 豊科公民館2階大会議室（安曇野市豊科）

内山 節（うちやま たかし）



1950年東京都世田谷区生まれ。  
1970年頃から、東京と群馬県の山村、  
上野村との二重生活をしている。

- 著 書  
『里の在処』（2001年、新潮社）  
『〈里〉という思想』（2005年、新潮社）  
『創造的であるということ 上下巻』（2006年、農山漁村文化協会）  
『戦争という仕事』（2006年、信濃毎日新聞社）  
『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』（2007年、講談社現代新書）  
『怯える時代』（2009年、新潮社）

ほか多数

## ◎講 座◎

「安曇野の伝統食を楽しむ  
～蚕玉様へのお供えもの・  
七夕まんじゅうとあんころ餅～」

- 講師 農村女性学習会のみなさん
- 日時 9月19日（土）  
午前10時～午後1時
- 会場 豊科保健センター  
（安曇野市豊科）

※申込期間など詳細は郷土博物館まで  
お問い合わせください。

## ◎展示説明会◎

- 日時 7月25日（土）  
午前10時～・午後2時～
- 会場 安曇野市豊科郷土博物館  
1階展示室

当館職員による展示説明会  
※入館料が必要になります。



## 安曇野市豊科郷土博物館

〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289-8  
TEL・FAX 0263-72-5672  
URL <http://toyohaku.jugem.jp/>